

令和5年度文化庁 東日本大震災被災地方言の記録作成及び啓発事業

方言で知ろう！



昭和の遊び



—宮城県名取市・岩沼市—



【教えてくれた人】 方言を語り残そう会

【文】 榎引 祐希子 (大阪教育大学)

【絵】 高笠 晴菜・滝清 紗希 (大阪教育大学)

【発行】 東北大学方言研究センター



方言で知ろう！

昭和の遊び



—宮城県名取市・岩沼市—

おずいんつあんとおばんつあんが
ちゃっこいとぎの遊びと方言ばも
いっぺいおぼえてや

QRコードで方言が聞けるよ。
遊び方を見ることもできるよ。
音の大きさに気をつけてね!



ピツキ(かえる)

【教えてくれた人】方言を語り残そう会

【文・編集】櫛引 祐希子(大阪教育大学)

【絵】高笠 晴菜・滝清 紗希(大阪教育大学)

【発行】東北大学方言研究センター

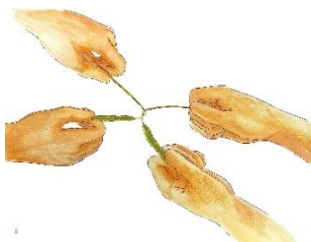
くさばなあそ
草花遊び

木っこも 葉っぱも 花っこも むすいっこも
わらすいだづにとっては
でえずいな あそびともだづいだ

木も 草も 花も 虫も
子どもたちにとっては
だいじな 遊び友だちだ

ササツパ(ささの葉)のふね





ゲロッパ(おおばこ)のすもう



カラカラ(なずな)のおと



スカンポ(いたどり)のふえ





マンジュバナ(しろつめくさ)のアクセサリー



トーミギ(とうもろこし)のひげのおそば



バツケ(ふきのとう)も



ままごとの しよくざい だいじな食材

なつ
夏のたのしみは ホタル



ネブガ(ねぎ)の あおい葉は

ホタルの かご



かや
蚊帳んながで

ホタルの あがり

見てだっけ



おくない あそ
屋内の遊び

遊びながら 歌って 歌うのも
たのすいがあったなあ

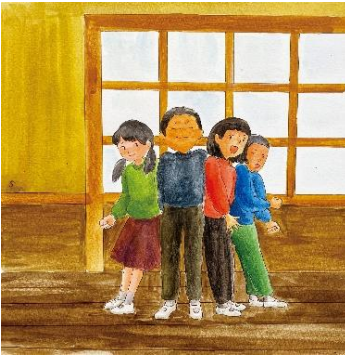
遊びながら 歌 歌うのも
たのしかったなあ

オシクラマンジュー

オサレテナクナ

ハミデタヒトガ

イチヌケタ



いろんな手遊び歌があるよ

し
知ってる手遊び歌はあるかな？



セッセッセー
パラリトセ…



イチカケ
ニカケテ…



セッセッセーノ
ヨイヨイヨイ…



ツブヤツブヤ…

ザンメスイ(おてだま)



ザンメスイの遊び方



ツブコ(おはじき)



ツブコの遊び方



馬みたいに背中まるめて その上さ のっていく



バッコトビ



「じゃんけん」じゃないよ

なんて言うか聞いてみよう!



チョキのゆび



おくがい あそ
屋外の遊び

今のような ゲームは ねがったけれど
むがすいは いろんな 遊びものが あったなあ

今みたいな ゲームは なかったけれど
むかしは いろいろな 遊ぶものが あったなあ



こまあそび

まりつき歌



わ 輪ゴムをつなげて つく 作ったゴム どこまでとべるかな



ハネッコ (ゴムとび)



「はじめの一歩」で数えるのは…



クルマントンテンカン (10数えるときのかけ声)

メノッコ (ビー玉 ^{だま})





これはなにかな？

聞いてみよう！



たけうま



かんけり

かん
缶づめで遊んだっけ



パッタ

(めんこ)



ゆき
雪がふったら

雪がっせん

たけ はんぶん わ
竹を 半分に 割って タップスベリ(スケート)



おやつ

むかしは どんな おやつが
あったのかな？



ビッキ(かえる)



うめ ^{かわ}梅ぼしを たけのこの皮で

さんかく ^お三角に折って すったっけ

クワゴ(くわの実) くうと

くち ^ら口んながも おらさき色





外^{そと}で 遊びながら



田^た植^うえグミ つまんで くれた

みんな だいすき
おいもの おやつ



木の^み実^みと くだものは 自然^{しぜん}のおかし



バライチゴ



すももは
方言が2つあるよ



バタンチョ



バタンキョ

この本について

みなさんは、この本^{ほん}で紹介^{しょうかい}された遊びと方言をどのくらい知^しっていますか。

この本^{なか}の中の遊びと方言は、名取市^{かつどう}で活動する「方言を語り残^{かた}そう会^{のこ}」が教^{おし}えてくれました。「方言を語り残^{かた}そう会^{のこ}」は、方言^{みらい}を未来に残^{わかしぼなし}したいと思い、方言で昔話^{むかし}を語^{べき}ったり劇^{げき}をしたりしています。

今回^{こんかい}、「方言を語り残^{かた}そう会^{のこ}」は、自分^{じぶん}たちが小学生^{しょうがくせい}だった昭和時代^{しょうわじだい}の遊びを方言で紹介^{しょうかい}することにしました。この本^{なか}の中で子どもたちといっしょに笑^{わら}っているおばあさんとおじいさんは「方言を語り残^{かた}そう会^{のこ}」の会^{かい}員^{いん}たちです。

この本で紹介した方言は、名取市や岩沼市の方言のほんの一部です。人によって言い方や使い方が少しちがう方言もあります。ぜひ、近くにいる大人に、この本の中で紹介された遊びと方言について聞いてみてください。

ところで、この本は、遊びと方言のほかにも昭和時代を知ることができるようになっています。子どもたちの髪型、服、靴は昭和時代の写真をもとに描きました。昭和 20 年代の服や靴を身につけている子どももいれば、昭和 50 年代のファッションの子どももいます。

さて、最後に問題です。なぜ「方言を語り残そう会」は、方言を未来に残したいのでしょうか。この本で紹介した方言を使いながら、その答えを考えてみてください。

あとがき

私は、2011年3月11日、仙台で東日本大震災を
経験しました。それ以来、被災地の様子が気になっていた
ため、名取市の仮設住宅でボランティアをつづける「方言
を語り残そう会」を応援し、その活動を記録してきました。

ちょうど東日本大震災から12年がたった2023年、
「方言を語り残そう会」の会員たちの子どもの頃の思い出
を方言で記録したいと考えるようになり、この本を作るこ
とにしました。

この本を作るために「方言を語り残そう会」にインタビュ
ーをして、たくさんおもしろい思い出を聞きました。特に
印象的だったのは、イナゴとりの話です。戦前は小学校の

みんなで^た田んぼに行き、つかまえた

イナゴを手ぬぐいのなかに入れて^も持

ち^{かま}帰り、^{しょくよう}食用として^う売って学校のため



のお金^{かね}にしていたそうです。

湧^わき水^{みず}のように次^{つぎ}から次へと子どもの頃のおもしろい話
が聞けましたが、この本ですべて紹介できなかったのが
残念^{ざんねん}です。

ですから、この本に登場しないおもしろい遊びや方言に
ついては、みなさんがまわり^{おとな}にいる大人から話を聞いて見
つけてください。そうすることで、今まで見てきた景色^{けしき}とはち
がう^{せかい}世界に出^で会^あえますよ。

櫛引 祐希子 (くしびき ゆきこ)

<kushibiki-y | |@cc.osaka-kyoiku.ac.jp>

このたび、この挿絵^{さしえ}を描かせていただいた高笠です。私は奈良県^うで生まれ育^{そだ}ったのですが、奈良の方言^{とくちよう}の特徴は、京都や大阪の方言が混^まざっていることだそうです。中でも「せたらう」「せったらう」(背^せ負^おうという意^い味^み)が、特に私の気^きに入^いっている奈良の方言です。

さて私が小^こさい頃は、缶^{かん}けりやグリコなどの遊^{あそ}びをしていました。奈良県^うでは、冬^{ふゆ}は底^{そこ}冷^{ひや}えるものの雪^{ゆき}があまり積^つもらないので、今回^{こんげん}描^えいたような雪^{ゆき}遊^{あそ}びは経^{けい}験^{けん}したことが



ありませんでした。絵^えを描^えいている間^{あいだ}、子どもたちの冬^{ふゆ}の服^{ふく}装^{そう}を調^{しら}べたり、東北^{とうほく}の冬^{ふゆ}の光^{こう}景^{けい}を想^{そう}像^{ざう}したりしていました。

挿絵を描くにあたって、さまざまなお話をお聞きすることができ、とても貴重な経験になったと感じています。このような機会に恵まれ、本という形になって読まれていくことを本当にうれしく思っております。

高笠 晴菜(たかがさ はるな)

このたび、挿絵を描かせていただいた滝清です。私は奈良県生まれの奈良県育ち。本の内容にちなんでとっておきの奈良の方言をお教えます。

「近く」のことを「ねき」と言い、「今は台所のねきよったらあかんで」（今は台所の近くに近づいてはダメだよ）という風に使います。ぜひお使いください。

さて、私は今まで東北には縁えんがなかったため、東北のこ

とをいろいろ調べながら絵を描き進すすめていま



した。東北かんさいと関西きこうで気候はや生えている植物しよくぶつの違ちがいがある
ば、その違ちがいをきちんと絵にしたいと思ったからです。



そのおかげで、東北さまざまの様々みりよくな魅力に出会えま

した。東北と私あらに新たなお縁えんができたことをとて

もうれしく思っております。

滝清 紗希 (たきすみ さき)

奈良には有名ゆうめいなお寺てらがたくさん

あるよ。金魚も有名だよ。



木っこも 葉っぱも 花っこも むすいっこも
わらすいだづにとっては
でえずいな あそびともだづいだ
今のような ゲームは ねがったけんど
むがすいは いろんな 遊びものが あったなあ
遊びものを ずいぶんたづいで 作ったりもすいた
ものがねぐでも 手っこだけで できる
遊びも あるっちゃ
遊びながら 歌っこ 歌うのも
たのすいがったなあ
おずいんつあんと おばんつあんが
ちゃっこいとぎの 遊びと 方言ばも
いっぺい おぼえてや



ニドマメ
(さやえんどう)

令和5年度 文化庁

東日本大震災被災地方言の記録作成及び啓発事業

方言で知ろう! 昭和の遊び 一宮城県名取市・岩沼市一

2024年2月 印刷・発行

【文・編集】櫛引 祐希子(大阪教育大学)

【絵】高笠 晴菜・滝清 紗希(大阪教育大学)

【発行】東北大学方言研究センター

〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内 27-1

Tel 022(795)5987



遊んだあとの
おやつも
紹介するよ。



【発行】 東北大学方言研究センター

〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内 27-1

Tel 022(795)5987